

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

30号

2007.6.23 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 1月27日(土) ... 花の咲く雑木林 / 定例活動・雑木林の達人養成講座(第4回)
- 2月24日(土) ... アカマツ林再生プロジェクト / 定例活動・雑木林の達人養成講座(第5回)
- 2月25日(日) ... アカマツ林の整備 / 天白もりのフォーラム・フィールドサーキット
- 3月18日(日) ... 浜松市椎ノ木谷保全の会視察
- 3月24日(土) ... 第9回萌木祭り&雑木林の味わい方 / 定例活動・雑木林塾(第6回)
- 4月28日(土) ... 相生口の竹林整備&2007年度総会 / 定例活動
- 5月26日(土) ... ウッドデッキの更新&サツマイモ畑づくり / 定例活動

1月定例活動・
雑木林の達人養成講座(第4回)

花の咲く雑木林

～ツツジの園づくり植生管理～



小春日和となった1月の定例活動は、恒例の「ツツジの園づくり植生管理」。

今年度は、天白生涯学習センター講座としての開催となり、初めての参加の方があったほか、講師には「オアシスの森」の生みの親の一人でもある岐阜大学名誉教授の林 進先生をお迎え

したこともあり、40名を超える大盛況の講座となりました。

午前中は相生小学校の研修活動室での座学で、広葉樹林の更新メカニズム、里山の植生管理による種の多様性増加など、学術的資料を交えながら丁寧な説明を受けました。



▲ツツジの園で実生の生育状況を参加者に説明する林先生

午後は場所をオアシスの森に移し、まずは梅林西側の尾根上部に広がる通称「ツツジの園」で作業を行いました。ここでの作業も3年目を向かえ、当初から比較すると明らかにツツジの群落

が明確になり、今ではオアシスの森の名所の存在になっています。今回は、枯れたアカマツや日照障害となっていたソゴゴ、コナラの除伐を行い、ツツジの園のさらなる範囲拡大を図りました。

フィールドワーク後半は、見晴らしの丘の植生管理を行いました。オアシスの森開設後10年が経ち、当初低く疎に刈り込まれていた低木も今では背丈を越えるくらいに繁茂し、見晴台からの眺めも木々の生長によって周囲の町が隠れるまでになってきています。

尾根部の植生管理は、ズミ、シャシヤンボ、イソノキなど、相生山を代表する里山花木の育成を目標に、作業方法をみんなで確認しながら支障木の除伐などを行いました。

今回初めて、また久しぶりに参加した皆さんは、充実した疲労感の中、明るく、すがすがしくなった森を見渡しながら、ともに達成感を噛みしめているようでした。(真弓 浩二)

浜松市「椎ノ木谷保全の会」の方々が視察にみえました

3月18日、オアシスの森に浜松市から「椎ノ木谷保全の会」の皆さんをお迎えしました。同会は平成15年に設立され、現在会員は25名。当日は浜松市緑化推進課の方たちとともにバスでの来訪となりました。

森くらぶからは、森さん、伊藤晶子さん、真弓が応対し、概略説明の後、実際の活動の苦労話などを交えた解説

をしながら、森の中を約90分かけて散策しました。お別れの際、森さんから手づくりの竹細工をお土産に手渡された皆さんは大変喜ばれていました。

午前からの短い時間の交流でしたが、同じ森づくりの仲間として、永い付き合いの友のように、心がふれあう楽しい一時を過ごすことができました。

(真弓 浩二)



2月定例活動・
雑木林の達人養成講座(第5回)

アカマツ林再生プロジェクト



毎年2月のルーティンワークとなった「アカマツ林再生プロジェクト」、回を重ねること6回目となりました。2月24日、今回は天白生涯学習センター講座「雑木林の達人養成講座」第5回として、受講者も加えて約40名の参加者で久しぶりに大人数での活動となりました。

午前中は、相生小学校での講座。講師に名市大の岡村穰教授を迎え、土壌を中心に松林の成り立ちを解りやすく説明していただきました。普段は地上の樹木しか見ていないことが多い私達にとっては、地面の下からの発想は非常に新鮮で、森を観る目がまた1つ増えました。

午後は、現地での活動。オアシスの森西側の「アカマツ再生プロジェクト林」に移動し植生管理を行いました。常緑

樹の除伐、チェーンソーでの枯れ松処理を行うとともに、中心となる松の根の張り方を観察しました。実生から育った苗もずいぶん成長し、中には一人前の松に近くなったものもありました。アカマツ林が着実に蘇ってきていることが実感できた講座の一日でした。

(永田 修二)



▲苗の生育を促すため日照を遮る常緑樹を除伐

天白もりのフォーラム・フィールドサーキット

アカマツ林の整備



「天白もりのフォーラム」は天白区内で森や川など自然環境に対して活動する10団体と行政機関が連帯する組織です。

今年度は区役所の募集で集まった人たちを天白区内のフィールドに案内するフィールドサーキットを開催し、相生山はその最終回第7回のイベントとなりました。2月25日(日)に、子どもを中心とした家族連れと会員約30名で前日に続きアカマツ林の整備を行いました。



▶森の親手入れに取り

午前中だけの活動でしたが、手入れを終えた森はアカマツの実生が並びさっぱりとした景観となり、参加者にはアカマツの成長を確認するために、再度森を訪れてくださいとお願いしました。

(大館 学)

シリーズ『森の住人たち』⑪

～ヨタカ(夜鷹)～

ヨタカ科 全長 29cm

環境 山地から低地など



出典「フィールドガイド日本の野鳥」(財)日本野鳥の会発行

Iさんの着信音が鳴った。
「えっ、どういうこと? Sさんからなんだけど、"ヨタカはツケン"って、何これ?」怪訝な顔をして画面を示す。
確かに"ヨタカハツケン"とある。うん~? 何だろう? その言葉をつぶやいてみる。
「わかった! "ヨタカ、発見!"ということよ!」
「キョキョキョキョ...」という声はよく耳にするが、夜行性のため実際にその姿を目にすることは、稀だ。
「どこだろう、行こ!」
のんびりムードが一変する。その日は観察会の下見のためのミーティングをし

ていた。Sさんは、先に相生山緑地に行っていて、ヨタカを出会ったのだ。
現地に駆けつけると、Sさんが手招きしている。
「いる、いる」ヨタカは、アカマツの枝に平行に止まり目を閉じていた。ゆっくり近づき、じっくり観察する。人の気配を察知したヨタカが、時折薄目を開ける。メンバーと小声で会話をしながら、観察をし、また写真撮影をする。と、ヨタカがさっと飛び去った。その姿を追いながら、相生山緑地の森にいつまでも飛び交い続けることを願わずにはいられなかった。
(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

3月定例活動・雑木林塾(第6回)

第9回萌木祭り & 雑木林の味わい方



本年度のくらぶ主催行事である雑木林塾も最終回ということで、これまで里山管理を進めるうえで必要とされる各種知識・技能を学んできた集大成として、やはり「食の愉しみ」を忘れるわけにはいきません。

当日は、当くらぶ会員でもある白石公二氏を講師に招き、災害時、サバイバルにも役に立つ、相生山の竹を使った釜飯づくりをメインに雑木林を十分

に愉しむノウハウを学習しました。



▲講師の白石さん

白石さんの説明を受け、まずは材料の準備です。相生口周辺で繁茂した竹の除伐を行い、竹釜飯に必要な竹材を用意します。直径15cm、長さ50cmくらいで節が2つある竹を用意します。2箇所斜めに切り込みを入れて小槌でなたをたたくと、面白いように竹のお釜ができます。割りとした竹も蓋として使うので、このやり方がいいのです。

食材は、お米(無洗米)に釜飯の素、相生山で採りたいたけも登場です。このほかにも竹玉子焼きや、白飯も試しました。材料を入れ、針金で蓋を固定しいよいよ炊飯です。もちろん燃料は相生山の竹炭です。切り取ったばかり

りのモウソウの生竹は水分を含みかつ適度な厚みがあり、炭で焼いても燃え出すわけでもなく、中のご飯が炊けるのです。普段アウトドアでは飯ごう炊さんが当たり前ですが、この竹釜飯はとて風情があり、面白く子どもにも受けること確実です。



▲竹釜と竹炭を使った自然の風味漂う調理風景

少し雨が降り始めて皆の気分が落ち込みそうになったときに、これもおなじみ蛭川さんのオカリナ演奏があり、最後に白石講師の「皆さんは愉しみながらこれで非常時にも対応できるノウハウを確実に身につけた。」との講評をいただき、有意義な一日を終えることができました。(大館 学)

5月定例活動

ウッドデッキの更新 & サツマイモ畑づくり



5月の定例会は、小屋横のウッドデッキの更新作業と、トンボ池の脇でのサツマイモ畑づくりを行いました。

ウッドデッキは3年前、アルミ地金のスペーサとして使われたカナダ産メープルを貰い受け、くらぶの仲間が手作りしたものです。設置した当初は、

定例会の昼休み時などに利用して重宝したのですが、最近はきのこが生えるなど腐りが激しくなっていました。

今回新たに貰い受けたメープルを使って、木部の交換を行う作業でしたが、朝からの参加者が少なく、野浪さんの道具が頼りの作業になりました。

作業の手始めはデッキの解体なのですが、古いデッキ材はムカデなど虫たちの格好の棲家となっており、見るからに気持ち悪い状態と闘いながら、何とか全てのデッキ材を片付けました。



▲黒くなるまで焼いた土台の上に新しいデッキ材を据え付ける

今回は前回の反省から、土台の木を表面が黒くなるまで焼いた上で防腐材(キ

シラデコール)を塗布し、デッキ材は全面に防腐剤を塗布しました。

3時過ぎには大方の作業が終わりでしたが、最後のデッキ材据え受けが一部残り、その後有志の方で作業を続け、夕方には完了させることができました。

一方、トンボ池東側では、女性陣が中心となって、大館さんが予め耕しておいてくれた5畝の畑にサツマイモの苗を植え付けました。



▲苗の植え付けが完了したサツマイモ畑

参加した皆さんには、暑い中の重労働本当にお疲れ様でした。

(村田 英二)

4月定例活動

相生口の竹林整備 & 2007年度総会



今年は例年より早く春がやってきたようで、トンボ池のヒキガエルのおたまじゃくしもすでに池から離れ、カタチの花も終わりを迎えた4月28日に、4月の定例活動と2007年度総会を開催しました。

午前中は、相生口から入った木道脇の竹林の整備を行いました。北斜面の雑木林にモウソウやハチクがかなり入り込んでおり、竹林の侵食を抑えるために20名近い会員が汗を流しました。除伐した竹材は相生口近くのお持ち帰りコーナーへ運び有効利用してもらう方式です。作業中にも複数の人たちから竹をほしいとの申し出があり、くらぶの活動内容を紹介しながらの作業となりました。

昼近くになり、少し雲行きが怪しくなってきたので、3時からの総会開催を急遽繰り上げ、12時半くらいから2007年度総会となりました。

総会は、2006年度の会計報告と活動報告、さらに2007年度の予算と活動計画について討議を行い、新役員体制についても承認を受け閉会となりました。

総会后すこし明るくなってきたのでさらに作業を行うことになり作業に取

り掛かったのですが、程なく雨が降り始めて結局中止。いささか中途半端な活動となりましたが、天気には勝てません。ここで散会となりました。

しかし、この雨も少しすると上がり、この後一部有志で小屋の横のウッドデッキの仮修繕や畑起こしなどにおおのが取り組み一日を終わりました。

新役員体制は以下のとおりです。

- 会長 / 大館 学
- 副会長・運営委員長 / 真弓 浩二
- 書記 / 近藤 真史
- 会計 / 村田 英二
- 会計監査 / 森 勝 (新任)
- 副運営委員長 / 永田 修二

※「公園愛護会会長」職は2007年7月、当会が「緑のパートナー」に認定されたことにより、廃職となりました。

(大館 学)

Schedule

【定例活動予定】

集いの広場
10:00集合

- 7月28日(土) 講座「森の調査」
- 8月25日(土) クラフト★
- 9月22日(土) 柴刈り大会・いのちの谷整備
- 10月27日(土) 第9回どんぐり祭り
- 11月24日(土) 竹林の整備・竹炭用材準備
- 12月22日(土) 正月準備、梅の剪定、施肥

2008年

- 1月26日(土) ツツジの園再生・しいたけ駒菌打ち
- 2月23日(土) アカマツ林再生プロジェクト
- 3月22日(土) 第10回萌木祭り

★8月の活動のみ「山根コミュニティセンター」集合

●●●●● 会員募集中! ●●●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は_____

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送料です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

Information

【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address :

aioiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

http://f44.aaa.livedoor.jp

/~oasis/index.html

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!

お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!